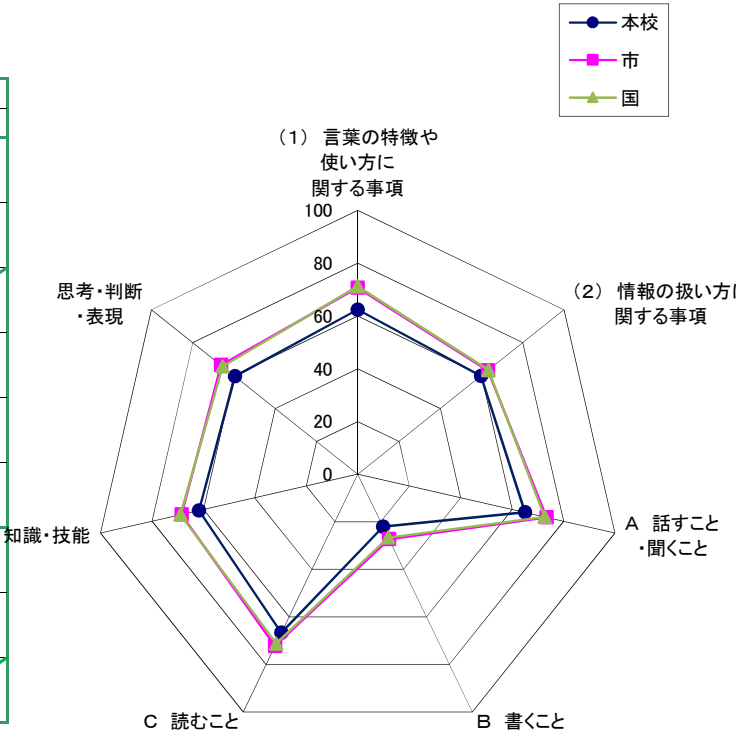


宇都宮市立桜小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	62.4	70.7	71.2
	(2) 情報の扱い方にに関する事項	59.8	63.1	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	65.0	73.4	72.6
	B 書くこと	22.0	27.3	26.7
	C 読むこと	66.7	72.2	71.2
観点	知識・技能	61.7	68.5	68.9
	思考・判断・表現	59.6	66.3	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	●漢字を正しく使う設問で、県や全国の平均正答率と同等の設問もあるが、間違いやすい漢字を問う問題では県や全国の平均正答率を大きく下回っており、課題が見られる。 ●敬語の適切な使い方についての平均正答率は、全国や県の正答率を大きく下回っている。敬語の理解について課題が見られる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の学習では、熟語を覚えるだけではなく、漢字の意味について理解を深めることで、漢字や熟語を正しく読み書きできるようにする。 ・日常生活において敬語を使う場面で、敬語が適切に使えるよう、くり返し指導していく。
(2) 情報の扱い方にに関する事項	○資料から原因と結果についての情報を読み取る設問では、県や全国の平均正答率を上回っている。 ●情報を読み取り正しく説明しているものを選ぶ設問では、全国の平均正答率を10ポイント近く下回っている。情報をじっくり読み解いたり、選択肢の文章を正しく読み取ることに課題がある。	・情報を読み取るポイントを明確にし、正しく分析する力を身に付けられるよう指導の充実を図っていききたい。また、様々な形式の問題を解くことができるよう、プリントなどを用いて学習に取り組ませていききたい。
A 話すこと・聞くこと	●インタビューを通して分かったことを書く設問で、条件を満たして書き表した正答率は県や全国の平均を下回り、無回答率は大きく上回るなど課題が見られる。	・聞き取った情報から自分の考えをまとめ、書き表す活動を意図的に取り入れ、書きたいことを短時間でまとめて書く力を高められるようにする。
B 書くこと	●学校の米作りの問題点と解決法を書く設問で、いくつかの条件をすべて満たして考えを書き表すことに課題が見られる。	・単に自分の考えを書き表すだけではなく、条件を満たして文章を書き表すような活動を意図的に取り入れ、表現力を高められるようにする。
C 読むこと	●昨年度の本校の平均正答率を大きく上回っているものの、県や全国に比べるとやや下回っている。	・物語文や説明文の読み取りだけではなく、資料やインタビューの内容など様々な文章を読み取る学習課題に取り組ませ、読解力を高められるよう指導していく。 ・最後の方の設問に無回答が多いことから、時間が足りなくて解答していないことが考えられる。短時間で文章の構成や要旨を読み取る読解力や、資料や文章などの情報を適切に処理し、設問を正しく解いたりする力を高められるよう指導していく。